

2018年7月29日

職務経歴書

小林 和成

■職務要約

- ・ 印刷製版機器メーカーである大日本スクリーン製造株式会社（現、株式会社 SCREEN ホールディングス）にて、お客様（印刷会社）への技術指導業務からスタートしました。〔9年〕
- ・ その後、新製品の評価や技術サポート商品の開発に取り組み、製品の品質向上および経費扱いであった“技術サポート”の収益化に貢献しました。〔12年〕
- ・ 次にサービス事業の分社化方針の下、保守サービスの委託子会社（現、株式会社エムティサービス 東日本）に出向（後に転籍）し、業務と意識の変革を進め自立を実現しました。またサービス品質の向上に努め、保守契約商品の販売を拡大しました。〔14年6ヵ月〕
- ・ 再雇用後は人材育成に傾注し、教育体系の構築とその実践を推進しました。社員の成長＝サービス品質の向上であり、企業価値を高めるものと信じております。〔約5年〕
- ・ またこの間、同業（保守サービス業）10数社で作る勉強会の幹事を10年以上務め、会員相互の発展に寄与すると共に、自分自身の視野を広げることができました。

■最終職歴（現在）

- ・ 平成25年10月～：株式会社エムティサービス東日本（定年後の再雇用にて総務部に在籍）
事業内容：印刷関連機器の保守サービス、技術サポート、およびIT機器販売
資本金：7,000万円 売上高：約31億円（2018年3月） 従業員：145名

■職務経歴

期間	業務内容
S.53年4月 ↓ S.62年3月 〔9年〕 【S.58/7： 主任昇格】	【所属】大日本スクリーン製造株式会社 入社（従業員：約1,200名） 営業技術部 東京テクニカルセンター配属（組織：15名） 【勤務地】東京・豊島区 ● 印刷製版機器（製版カメラ、スキャナー等）のお客様への技術指導 ・ オペレータートレーニング、印刷物の品質向上、生産性向上の支援 ● 販売促進；設備導入を検討するお客様への技術的説明（営業サポート） ・ 立会テスト；お客様立ち会いの下、指定された成果物を出力
S.62年4月 ↓ H.7年6月 〔8年3ヵ月〕 【H.1/7： 係長昇格】	【所属】営業技術部 画像技術課（組織：15名） 【勤務地】京都市（京都は本社、開発本部、およびサービス本部の所在地） ● 新製品の評価；お客様目線で評価し顧客ニーズを反映 ● お客様向けドキュメント作成；「マニュアル」（操作説明書）等の作成 ● 技術サポート商品の開発；オペレータートレーニングなど、従来無償であった役務を「サポート商品」として整備し販売。当初はお客様の抵抗があったが、次第に理解されサポート有償化の道筋をつけた。

H.7年7月 【課長昇格】 ↓ H.9年3月	<p>【所属】ソリューション部 システムインテグレーション2課 課長（組織：20名） 【勤務地】京都市</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータの販売；原稿制作に必要なソフトを組み込んだ「印刷会社専用PC」を商品化。付加価値仕入販売のビジネスモデルとなった。（売上：約20億円）
H.9年4月 ↓ H.11年3月 〔2年〕	<p>【所属】ソリューション部 教育サービスグループ 課長（組織：7名） 【勤務地】東京・豊島区</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教育ビジネス；お客様への様々な技術情報の提供、技術指導等の役務を商品化（有償化）し、教育ビジネスを立ち上げた。
H.11年4月 ↓ H.16年3月 〔5年〕	<p>【所属】子会社：株式会社ディエステクノサービス 出向（従業員：約100名） 〔事業内容：受託による保守サービス。現、株式会社エムティサービス東日本〕 【勤務地】東京・豊島区 【職位】技術部副部長、後に事業企画室を新設し室長</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サービス事業の子会社全面移管と自立；サービス体制の整備、顧客への説明、社内規定見直し、直接請求／回収業務、社員の意識改革等を推進。 ● H.13年4月より直接請求／回収スタート；お客様の理解を得ることに苦労したが、順調に軌道に乗せることができた。（自立直後の売上の8割以上が直接回収）
H.16年4月 【部長昇格】 ↓ H.25年9月 〔9年6ヵ月〕	<p>【所属】株式会社エムティサービス東日本 転籍（従業員：約120名） 【職位】事業企画室長、ソリューション部長、営業技術部長を歴任</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 保守契約商品の開発、拡販；都度請求から年間契約ベースのビジネスへ転換。（保守契約率80%以上。現在、売上17億円に成長） ● ITソリューションビジネスの確立；お客様のIT環境改善をターゲットに、コンピュータの販売やネットワーク構築事業を軌道に乗せた。（売上1.8億円） <p><H.25年9月：定年退職></p>
H.25年10月 ↓ H.30年9月 〔5年〕	<p>【所属】株式会社エムティサービス東日本（定年後再雇用にて総務部に在籍）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人材育成を担当；社員研修の企画／実施、教育体系の構築、新卒採用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新入社員研修；2ヵ月の導入研修を企画し毎年継続。改善を重ね定着した。 ・ 新卒採用；学校（教官）との信頼関係を築き、継続的な採用を実現。 ・ 社員教育体系の構築；親会社による「SCREENグループ人材育成理念」に基づき、当社の独自性を盛り込んだ教育体系を構築し開始した。 <p><H.30年9月：期間満了により退職予定></p>

■自己PR（※特定の企業・団体への提出を前提としたものではありません。）

40年間一貫して製品とお客様の“接点”を歩み、品質向上／CS向上／ES向上に携わって参りました。常に意識してきたことは次の2つで、私の信条と言えるものです。

- ・相手（お客様）の立場で考える、相手の気持ちを大切にする。
- ・粘り強く取り組む。

これらの経験から得た「組織間の調整力」や、元々自負している「サービスマインド」を活かし、社会支援事業を行う組織の一員として、その成果に貢献したいと考えています。具体的に絞り込めておりませんが、環境対策、地方創生、情報格差等の社会課題や、直近の5年間、人材育成に関わる中で「教育」の重要性を改めて確信したことから、学校運営や特に深刻な子供の教育格差是正の分野で、私の経験とスキルとマインドで力になりたいと考えます。 以上